

一般質問



丸山 英邦 議員
(七尾の未来をつくる会)



■七尾市震災復興ゆめ基金について

地域の声をきいた活用を！

質

七尾市震災復興ゆめ基金について問う。震災で地域コミュニティの力が弱まる中、地域の復興や盛り上げに当該基金は非常に重要である。①創設から1年が経過したが、この基金を、何のために、どのように使ってほしいと考えているか、市長の思いを伺う。

②運用にあたり、地域づくり協議会が地域の声をしっかり聞くことは必須である。また、一部で少数の役員のみで支出決定されている事例があるが、地域の声を担保するため、総会承認や会議録添付が必要ではないか。毎回の総会開催が困難でも、地域で十分話し合われているか市が確認していくべきだが、どう対応するか。

③基金の活用状況に問題があった場合の市の対応を伺う。

答

①当該基金は、地域づくり協議会の活動を財政面から後押しし、地域の底力を発揮してもらうために創設した。単なる備品購入など一過性の消費で終わる予算ではなく、地域の持続可能な未来へつながる創造的な事業に活用してほしいと考えている。

②協議会は市民のニーズを捉え、有効活用することが重要である。手続において総会承認が望ましいが、市では随時申請を受け付けており、協議会側が申請のたびに総会を行えない場合も考えられる。意思決定手続は各協議会の取決めで定めることが適当だが、申請前の事前協議で、協議会内で一定の合意形成が図られているかを市として確認していく。

③活用状況に問題が認められた場合は、速やかに事実調査を行い指導していく。

一般質問



山添 和良 議員
(市民クラブ)



■産後ケア事業について

市民・民間業者の声を拾え！

質

福井県高浜町の取り組みを参考に以下伺う。①事業の対象者は「困った人」で良いのか。

②利用者だけのアンケートで事業評価しているが、それで良いのか。

③民間業者との連携を考えてはどうか。

④温泉旅館や民宿との提携も必要だ。

⑤市民や民間業者の要望を把握しているか。

答

①受入れ機関が限られているため、対象者を「困り事を抱える方」としていた。出産した全ての人を対象とするのは厳しいが、今後は「産後ケアを必要とする方」へ対象を広げたく、受入れ機関の拡充が必要と考えている。

②事業評価はガイドラインに沿って行っているが、現状は産後ケア利用者が少ないため不十分と捉えている。今後は、潜在的ニーズを把握するため、利用者以外へのアンケート実施も検討していく。

③対象者の拡充には、現状の病院2か所だけでは対応が厳しく、受け入れ機関の拡充が必要である。産後ケア事業を希望する方が、安心して利用することができる体制を整えるため、実施可能な民間事業者との連携に向け、取り組みを検討する。

④温泉旅館や民宿との連携は、まず民間事業者での実施から始め、連携が可能かどうか、先進地事例から研究していく。

⑤市民の要望は、健診参加者に意向を確認しており、7割以上が家庭的な施設での利用を希望している。また、現在、助産師や看護師などの専門職が常駐している市内の民間事業者に相談しており、今後も情報収集に努め、実施場所や対象者の拡充に向けた取り組みを検討していく。